

ミンダナオ再訪記

副理事長 古川順一

マニラから4時間のフライトで世界が変わる。

成田から東京までの車中で、日本はいいなと改めて感じた。だからこそ意識して、努力して、また想像力を発揮してビラーンをはじめとする少数民族の暮らしを考えなくてはいけないのだと自戒した。

6月10日、山崎さん、今泉監督、私の3名は、ウィリアム神父の車でゴメロ村に出かける。水道敷設の進行状況の確認である。その後アトモロック村に移動。奨学生の現況把握である。

これが大変な旅となった。車で1時間半、川を渡り山道を登る。しかし、あまりの急勾配で車がギブアップ。通りかかったトラックの荷台に便乗させてもらう事30分。トラックもスリップしてしまう急勾配では、車の前についているワイヤーを道際の樹に巻き付け、クレーンで車を引っ張り上げる。

峠でトラックに別れを告げ、30分ほど歩いて小学校に到着。授業中の生徒全員が駆け寄り挨拶してくれた。

輝く目。明るい笑顔。子供たちの未来に光りあれと祈る。しかし、すべての子どもが小学校に行けるわけではない。

スタッフハウスに1泊した後、車がないので歩いて帰ることになる。時間を計ったが、神父の車が待っているところまで1時間40分歩いた。

私の荷物は15キロ近い。それを持っては歩けない。子どもたちが、全員のトランクを担いで山道を下つたらしい。実際その光景を垣間見た。

子どもたちは労働力でもある。働きながらも、皆が勉強できるようになってほしいと祈った。

キューブラー・ロス女医の言葉を紹介したい(『人生は廻る輪のように』1997より)。

毎日、理解と慈悲を必要とする人たちが増えている。その人たちの声に耳を傾けてほしい。美しい音楽を聞くようにその声を聞いてほしい。人生最高の報酬は、助けを必要としている人たちに対して心を開くことから得られるのだ。最大の祝福はつねに助けることから生まれる。どうかもっと多くの人に、もっと多くの愛をあたえるように心がけてほしい。

青葉台駅前事務所 開所しました！

新事務所は田園都市線青葉台駅前徒歩4分。2階建て木造アパートの1階6畳2間、キッチン、バス、トイレ付です。おもに伝統工芸品関係の仕事とニュースレターの発送作業、外部の方との打ち合わせ、月例会などを行っています。

9月からは月・火・水・木の週4日体制でスタッフがおりますので、お近くに来られるときはお立ち寄りください。ティナラク織りやアジアの織物の本、現地の写真・資料などがございます。

(なお本部事務局は、青葉区鴨志田町516-11山崎方のままです)



右から森岡医師、前田理事、九島、仲井間理事。医療支援の打ち合わせ中。

第9回(平成20年度)社員総会報告

*平成21年5月24日(日)午後1時半~4時、当団体青葉台駅前事務所にて開催。

*出席者:社員総数49名中40名(油井・渡辺・前田・古川・仲井間・九島・山崎と表決委任33名)

*議題と主な質疑内容

- 1 平成20年度事業報告:各種助成金事業や人材育成事業の成果報告のあと賛成多数で承認。
- 2 平成20年度収支計算書:予算との大幅差異項目の説明と山口監事の監査結果代読のあと承認。
- 3 平成21年度事業計画案:奨学生数削減など規模縮小の事業はあるがほぼ前年度並みの内容で採択。
- 4 平成21年度収支予算書:ハンディクラフト事業収支の説明や以下の質疑のあと採択。

(質)青葉台駅前事務所設置に伴う支出増加に対する財源または対策があるか。

(答)当面人件費をゼロとし、事業費も定期医療支援やカレッジ奨学生支援などを減額して対処。

*報告事項 1 ダトゥピアン避難民緊急支援の成果 2 新事務所の設備概要・使用上の決まり 他<以下、平成20年度決算と21年度予算の概要です。運営費に充当する社員会費増加が課題です。)

(H20年度決算)収入:社員会費283・寄付6,230・助成金2,482・他358 支出:事業費8,541 運営費842(千円)

(H21年度予算)収入:社員会費300・寄付5,470・助成金4,621・他350 支出:事業費9,206 運営費1,454(千円)